



丹沢大山 クリーンピア21

第22号
平成28年
3月22日発行

平成二十七年の主な活動

平成二十七年十月十九日(日)に山北町による清掃活動をスタートとして、県内7市町村に各会場を設置し、「平成二十七年 丹沢大山クリーンキャンペーン」を実施しました。今年の中央会場として、平成二十七年十一月六日(金)に「丹沢やまきたHAPPYマウンテン」会場内に丹沢大山クリーンピア21のブースを設置して、啓発活動と清掃活動を実施しました。

また、今年は雨にたたられ、松田会場が中止、相模原会場は、ゴミ回収活動を啓発活動に変更して鳥居原園地において実施しました。



○クリーンキャンペーンの結果

※複数日実施結果

<小数点以下四捨五入>

会場	会場(実施)場所	会場設置日	参加者数(人)	回収ゴミ(kg)				協力団体数
				可燃	不燃	その他	計	
秦野市	大倉登山口、ヤビツ峠登山口	10月31日(土)	278	200	60	-	260	15
清川村※	清川村内	10月25日(日)	2,336	180	970	2,005	3,155	44
伊勢原市※	大山登山道他	11月14日(土)	1,266	134	130	-	264	30
厚木市	白山順礼峠ハイキングコース	11月3日(火)	122	6	3	-	9	1
山北町※	丹沢湖周辺～河内川周辺	11月6日(金)	686	210	180	110	500	15
松田町	雨天中止	11月8日(日)	-	-	-	-	-	-
相模原市	緑区鳥屋地区	11月15日(日)	8	-	-	-	-	-
計			4,696	730	1,343	2,115	4,188	105

協賛企業及び機関

(株)アイエンス	アサヒビール(株)	足柄上郡砂利協同組合
(一社)足柄建設業協会	厚木市森林組合	厚木市農業協同組合
厚木商工会議所	伊勢原カントリークラブ	(一社)伊勢原市観光協会
伊勢原市商工会	伊勢原市森林組合	伊勢原市農業協同組合
伊勢原中央ロータリークラブ	エバラ食品工業(株)	大秦野カントリークラブ
大山阿夫利神社	大山飲食店物産組合	大山観光電鉄(株)
大山先導師会旅館組合	大山寺	小田急電鉄(株)
(公社)神奈川県観光協会	(一社)神奈川県建設業協会 伊勢原支部	(一社)神奈川県 森林土木建設業協会
(一社)神奈川県建設業協会 県央支部	(公財)神奈川県公園協会	神奈川県森林組合連合会
かながわ西湘農業協同組合	(株)清川カントリークラブ	清川村森林組合
相模鉄道(株)	サントリー酒類(株)	(株)湘南神奈交バス 秦野営業所
(株)太平洋クラブ相模コース	タカナシ乳業(株)	NPO法人丹沢自然保護協会
丹沢山小屋組合	津久井郡森林組合	津久井郡農業協同組合
津久井商工会	(株)東京カントリー倶楽部	七沢観光協会
日本たばこ産業 (株)安全性研究所	秦野瓦斯(株)	(一社)秦野市観光協会
秦野市森林組合	秦野市農業協同組合	秦野商工会議所
秦野丹沢ライオンズクラブ	秦野ロータリークラブ	相模漁業生産組合 早戸川国際マス釣り場
富士急湘南バス(株)	松田ライオンズクラブ	(公財)宮ヶ瀬ダム周辺 振興財団
諸戸林業(株)	(公財)山北町環境整備公社	山北町観光協会
山北町商工会	山北町森林組合	山北ライオンズクラブ
ユーミーらいふグループ	秦野中ロータリークラブ	

(50音順)

ご協力ありがとうございました!!

ゴミ問題と協働

NPO法人 丹沢自然保護協会 理事長 中村 道也

「ゴミ問題と協働」

東京の渋谷に、青山学院という私立学校がある。40年以上昔になるが、毎年、夏休みになると、丹沢へキャンプに来ていた。

しかし、目的は、登山や自然観察ではない。当時、私達には耳慣れない、ワークキャンプだ。簡単に言えば、泊まった宿にお金を払いながら、森の中、川の中の「ゴミ掃除」を行う。夏休みなら部活もあるだろうし、本分の勉強もある。その中で1週間だ。引率の先生は、「時間が限られているから」と、雨の日も風の日も、子供たちと川原や道路に放棄されたゴミ掃除に出かける。正味7時間労働だろうか。当時、キャンプやB・B・Qで森や川原に捨てられるゴミは、いまでは想像も出来ない量である。死んだ動物のお腹から、ラップや発泡スチロールが出て来るのは珍しいことではなかった。自然環境の利用マナー欠如と、クルマ時代が重なった結果だ。

子供たちは、軍手にヒバサミとはいえ、川の中から、割れたビール瓶を回収したり、森の中の汚物を処理することもあった。塩水や本谷、一ノ沢などの川原で集めたゴミは、2トトラック2台分ほどになる。分別と言う意識は希薄な時代だったが、子供たちは土嚢袋に丁寧に仕分けした。収集したゴミは、秦野市が回収に来てくれた。いま、そ

1987年の山ゴミ収集の様子



の時の「子供たちの子供」が、活動に参加している。丹沢のゴミ掃除第2世代である。

丹沢大山クリーンピア21に至る経緯は以前にも書いたが、一九七〇年代、全国的な登山ブームの中で、丹沢も例外なく、山に放棄放置されるゴミが増えて行つた。そこで、「山を綺麗にしたい」との思いから、丹沢自然保護協会は「ゴミ持ち帰り運動」を発案。当時、丹沢の玄関口と言える秦野市と、観光協会や商工会議所などの理解と協力を得て、一九七三年、それまで全国でも例がない官民業協力で、丹沢・ゴミ持ち帰り運動協議会が発足した。その後、神奈川県が参加し、それに伴い、事務局を丹沢自然保護協会から神奈川県に移管。実行委員会形式となり、現在の丹沢大山クリーンピア21に繋がった。目的や目標が同じなら、運営主体が「官」に移行することは、活動にも参加団体にも広がりが出る。一例だが、ゴミ持ち帰り運動に、「海も取り込もう」と発案したのは、当時、自然環境保全センターの原田副所長だ。意識の共有があれば、それぞれの立場に垣根はない。

先進国では、福祉や環境に関わりを持つことも、企業家の評価と聞く。民間から始まり、官業の協力により、子供たちの活動が実績を積みあげた事を考えると、昨年の会長辞退の申し入れは少し寂しい思いがした。自然環境、水源環境が、行政として取り組む時代である。丹沢大山クリーンピア21は、協働の先駆として、その意義を引き継ぐと共に、さらに活動を発展、充実する事が求められる。



編集後記

今回の団体寄稿は、副会長でもあるNPO法人 丹沢自然保護協会の理事長 中村氏です。

一九七〇年代から丹沢の環境保護に熱心に取り組まれた貴重な経験を教えていただきました。日本の山岳ゴミ対策の先鞭をつけた熱い思いを引き継いでいると考えると身が引き締まる思いです。

当センター勤務になつて「自然環境を守ろう」と云う言葉が正しくは「人間の健康・生活を支えている自然を守ろう」であることが、よくわかるようになりました。人間が生きていく上で必要な自然環境は、スケールは大きく、そのくせ繊細な相手です。「山」を特別視せず、けれども「山」を出発点としてわれわれの住み良い自然環境を維持して行くため、活動の継続にご協力、よろしく願います。

発行元

神奈川県
自然環境保全センター

自然保護課内

クリーンピア21事務局

〒二四三〇一〇二二

神奈川県厚木市七沢六五七

電話〇四六二四八一六八二

秦野市

丹沢大山クリーンキャンペーンをとおして

秦野市では平成二十七年十月三十一日(土)午前八時三十分から「平成二十七年丹沢大山クリーンキャンペーン」を開催いたしました。天候はあいにくの曇り空でしたが、昨年、中央会場で初めて参加された方に加えて、例年参加していただいている方々にも引き続き参加していただき、当日は2会場合わせて、15団体・全278人もの方々が参加されました。

清掃場所は、大倉尾根の入口である県立秦野戸川公園周辺と、ヤビツ峠の2会場で清掃活動を実施いたしました。

当日は朝早い時間から昼ごろまで、ボランティア団体の方々をはじめ、地元や市内の高校生も参加し、精力的に活動されました。平成二十四・二十五年度と年々参加者は増加しており、丹沢大山クリーンキャンペーンをとおして、ボランティア活動に興味を持つ方が増加していると感じていきます。

今後さらにクリーンキャンペーンの活動を広めていくために、一般参加者だけではなく、市内を中心に清掃活動等を日頃から実施している団体への呼びかけを増やし、地元根付く清掃活動にしていきたいと思えます。

今年度は2会場合わせて、260kgものゴミを回収することができました。しかし、今回、回収したゴミの量は昨年度を超える数量であるため、今後はクリーンピアの活動に力を入れるだけでなく、不法投棄やゴミのポイ捨てを防ぐ啓発活動にも力を入れていきたいと考えています。



山北町

丹沢大山クリーンキャンペーン

中央会場を開催して

本町は、町域面積の約90%が丹沢大山国定公園や県立自然公園などを含む森林地域であり、上流部には、丹沢湖をはじめとした中川川、玄倉川、世附川などの水系

に恵まれ、四季折々の渓谷美にあふれています。このような地域として、緑豊かな森林がどこまでも連なり、清らかな水に恵まれ、澄んだ空が広がる爽やかな環境を守りながら活用することにより、人と自然が共に生きるまちづくりを目指しています。

さて、「丹沢大山クリーンピア21」は、事業所・団体・県・市町村が協力し、丹沢大山国定公園を中心とする山岳地帯およびその周辺の地域の自然を美しく保存するとともに、健全なレクリエーションの場として良好な環境保全に寄与するため、ゴミの持ち帰り運動を推進することを目的として活動しています。

本町では環境美化推進事業として、六月と十月に「クリーンキャンペーン」を開催しており、十月に行う第2回目を「丹沢大山クリーンキャンペーン」と併せて実施しています。また、今年度は中央会場ということもあり、十一月に箒沢地区で開催されました「丹沢やまきたHAPPYマウンテン」のイベントに併せて、ゴミの持ち帰り啓発活動を実施しました。丹沢大山クリーンキャンペーンでは、自治会や各種団体皆様のご協力のもと、参加者は539名で丹沢湖周辺の道路や、林道沿いのゴミ拾いを実施していただきました。回収したゴミの量は490kgで、自転車、タイヤ、テレビ等の大型のゴミもありました。また、今回のクリーンキャンペーン全体では、参加者3,580名で、合計4,480kgのゴミを回収しました。

「丹沢やまきたHAPPYマウンテン」につきましては、イベントのゲストとして参加していただきました。アルピニスト野口健さんによる環境についてのトークショーや、丹沢大山クリーンピア21会員団体、イベント参加者にご協力いただき会場周辺のゴミ拾い、環境ブースにてゴミの持ち帰り啓発運動を実施しました。

今回中央会場を開催して、私たちがいつまでも美しく、自然あふれる丹沢を守っていくためにも日々健闘していかなくてはならないと実感しました。

最後になりますが、丹沢大山クリーンキャンペーンに参加していただきました皆様、並びに丹沢大山クリーンピア21関係者皆様にご支援ご協力いただきましたことに紙面をお借りしてお礼申し上げますとともに、皆様方のご健勝をご祈念申し上げます。

ありがとうございました。

